

嘉瀬川水系本庄江 広域河川改修事業

事業目的

○流下能力不足による浸水被害が発生

平成2年7月洪水

浸水戸数 500戸

浸水面積 520ha

○浸水被害の軽減を図る

・流路是正、狭窄部解消を実施

・治水安全度の向上を図る

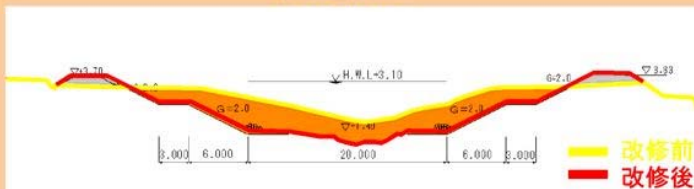
計画流量 $100\text{m}^3/\text{s}$

計画治水安全度 1/50

本庄江広域河川改修事業 着手年:昭和52年度 事業地:佐賀市



標準断面図



○事業概要

- 全体事業費 13,100百万円
- 事業期間 S52~H30
- 改修延長 7,405m
- 計画流量 100m³/s
- 計画治水安全度 1/50
- 掘削・築堤・護岸、樋管19基、橋梁10基、堰2基、水門1基
- 費用対効果 2.8

本庄江 航空写真



○事業進捗状況

- 西今宿川合流点から上流は、塚原橋付近を除き、ほぼ完了している。
- H24年度末進捗率 88%(事業費ベース)
- 年平均進捗率 2.4%

費用対効果 B/C

総費用額C: 治水施設の整備及び維持管理に要する総費用

総便益額B: 治水施設整備によってもたらされる総便益額

(被害軽減額)

(総費用額C及び総便益額Bをそれぞれ現在価値化し比較する)

総費用C: 29,758百万円

総便益B: 82,883百万円

内訳	・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所資産、農漁家資産)	27,750百万円
	・農作物被害(水稻、畑作物)	328百万円
	・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁、農地等)	47,009百万円
	・間接被害(事業所の営業停止被害、応急対策被害等)	7,642百万円
	・残存価値	154百万円

※ 費用対効果

$$B/C = 82,883 \text{ 百万円} / 29,758 \text{ 百万円} = \underline{2.8}$$

過去の洪水

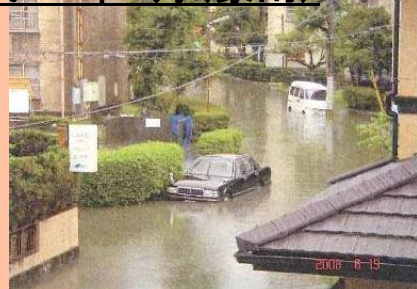
○平成2年7月(梅雨前線豪雨)

連続雨量463.5mm、最大日雨量313mm
時間最大雨量66mm(佐賀土木事務所 雨量観測所)

浸水戸数500戸
浸水面積520ha



○平成20年6月(豪雨)



整備済み区間状況(上流部)



【本川 新橋 (5k390) より下流を望む】



【支川新川 北島橋 (1k120) より下流を望む】

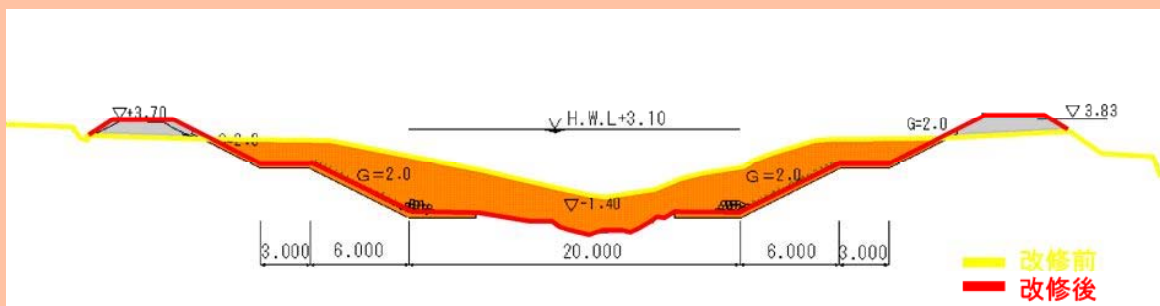
未完了区間状況(下流部)



【本庄江橋 (0k900) より下流を望む】



【新高橋4k420右岸付近より下流を望む】



今後の本庄江広域河川 改修事業の継続について

☆河川改修の効果☆

①治水安全度の向上

②平成2年7月洪水による

浸水被害 500戸

浸水面積 520ha の軽減

③地域住民の安心・安全の確保

☆今後の事業展開☆

・事業を継続し、早期完成を図りたい